

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

(宣言日・変更日) 令和 2年 12月 4日

事業所・団体としての2030年の(または中長期的な)あるべき姿		
快適で心地の良いコミュニケーションの開発を通じて、なめらかなコミュニケーション社会の発展に寄与している。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
クラウドサービスの包括的なエコシステムによる地球のクリーンエネルギー化の推進と、効率的なテクノロジー開発とブランディングによる企業の成長戦略で安心安全なコミュニケーション社会のデジタルプラットフォームを目指す。		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
1 人や国を結ぶ	快適なテクノロジーの提供を通じて、なめらかなコミュニケーション社会を築く事で経済活動に貢献する。地域のパートナーとのコミュニティを形成し、そのサービス提供のスピードを上げる事で経済の活性化を果たす。	・サービスのバージョンアップを重ね、ユーザと販売パートナーの成長及び自社サービスを通じたコミュニティの発展に寄与する。
2 質の高いインフラ	ECプラットフォームの「アクセスショップ」の提供により、DtoCの社会インフラの構築のスピードを加速させ、高度なデジタルマーケティングにより世界中の商取引の安定供給の実現を図る。	「アクセスショップ」のバージョンアップを行い、導入企業の商取引を現状の10倍に拡大を推進する。
3 健康とウェルビーイング	新型コロナウイルス対策や災害時の安否確認のデジタルプラットフォーム「安否コール」の普及により、法人だけでなく家族を含めた全ての人の健康状態や安否状況の社会コミュニケーションの促進に寄与する。	・「安否コール」の拡販やIoT連携機能を強化することで、現在の2倍のユーザの安否状況を含めたコミュニケーションを促進する。
4 質の高い教育	専門性の高いテクノロジーを導入する企業に向けたITリテラシーの向上施策として、無料のトレーニングやテクニカルセミナーやユーザ会・パートナーアワードによる包括的なIT教育の学習の機会を提供する。	・サービス導入企業向けの運用サポートとしてテクニカルセミナーを毎月開催する。 ・導入企業へのインタビュー動画を配信し、より効果的にサービスを利用いただけるようサポートする。
5 ジェンダー平等	女性活躍の積極的な推進として「えるぼし」「くるみん」の認定と、静岡市からの表彰に裏打ちされた平等で差別のない組織風土を醸成している。	・出産・子育て支援策の拡充 ・管理職層に占める男女比率を平等にする
6 清潔な水と衛生	物流の最適化を図る「eMAPロケーション」のテクノロジーは、自動車や大型車など効率的で無駄のない配送ルートが導き出されるため排気ガス・二酸化炭素の排出量の大幅な削減に繋げ世界中の水資源の汚染を防止し、快適な上下水道の確保を実現している。	・継続して活動
7 持続可能なエネルギー	クラウドテクノロジーの次世代型プラットフォーム「XEO server」は、複数の国際リージョンで構成され堅牢なセキュリティと可溶性の高い持続可能なサービスをエコシステムとして環境構築しアップデートを継続する事で、数多くのユーザへ安価に提供することができ省エネルギーへと転嫁させている。	・継続して活動
8 持続可能な成長	2002年に開始したサブスクリプションによるストック積み上げ型のビジネスモデルにより、サービスおよび従業員の成長速度を高め生産効率の高い付加価値のある働きがいのある組織文化が形成されている。	・最新のテクノロジーを取り込み、サービスのバージョンアップを重ねるとともに、スキル・知識獲得のためのWEB検定、GAIQ、WEB解析士の資格取得支援、社内検定としてアドクエ、ウェブジェネチャレンジなどを通じて従業員の成長をサポートする。 ・テレワーク等による新たな生活様式に合った多様な働き方を推進する。
9 産業とイノベーション	デジタルテクノロジーの新しいイノベーションをより強靱な個性として磨きかけるために、知財戦略として2つの特許取得を行っている。国内のみならずグローバル産業の発展と業界の技術革新を視野に入れ、米国・中国・ベトナムでの国際特許の出願している。	・サービスにおける重大なセキュリティ事故の発生件数 0件とする。 ・既存ITとの連携機能や新技術を取り込んだ自社サービスの開発を推進する。
10 人や国を結ぶ	グローバル社会とダイバーシティを見据え、テクノロジーの外国語対応によりUXを向上させ、世界中の人々が快適でなめらかな情報社会を築く事で国家間の格差のない平等な社会の実現に貢献する。	・自社サービスの日本語以外の言語対応を進める。
11 持続可能な都市とコミュニティ	災害大国日本国内での地震や風水害での強靱なコミュニティを形成するために、BCPプラットフォーム「安否コール」を全ての人に提供する事で組織と人と家族が安心安全で快適なまちづくりに寄与する。	・安否確認システム「安否コール」の機能拡充・速度改善・稼働安定性の向上により、企業の災害時の初動対応・コミュニケーションの迅速化に貢献する。
12 持続可能な消費と生産	テクノロジーを安心安全に利用して頂く責務として、第三者機関であるPマーク・ISMS・ASPICの認定基準に基づき「フライホイール効果」により顧客視点での開発を義務付けている。	・継続して活動 ・セキュリティに関する最新情報の収集と社員への情報提供を行い、サービスのセキュリティ強化と社員のセキュリティ意識の向上を図る。
13 気候変動と持続可能な消費と生産	日本国内のあらゆる気候変動や災害の影響に立ち向かうために、2010年よりBCPを導入しインシデントによる危機管理と緊急対策の徹底を社内に根付かせている。	・自社BCPの定期メンテナンスと社内教育を行い、社員の危機管理意識の向上に努める。 ・規模拡大・頻度増加している風水害に対応したサービスの開発を進める。
14 海の豊かさ	南海トラフ地震の震源地である静岡県の駿河湾沖でのイベントに、毎年ボランティア活動として協賛する事で海の豊かさや海洋資源の大切さを地域社会のコミュニティへと啓蒙している。	・継続して活動
15 陸の豊かさ	自社及び取引先との業務においてペーパーレスを推進することによりCO2の削減に寄与している。また、クラウドサービスの利用を促進することで顧客企業においてもペーパーレスが進み環境保全に貢献する。	・継続して活動
16 平和と公正	インターネット普及率が9割を超えて情報認知の主要な手段となる中で、誰でも簡単にWEBサイトを作成更新ができるCMS「FREECODE」を提供・普及させることにより官公、団体、企業などのインターネットによる正確な情報公開を促進し、より多くの方々が必要な情報にアクセスできる社会に寄与している。	・継続して活動
17 パートナーシップ	・安否確認システム「安否コール」を自治体、業界団体、サプライチェーン、地域社会における情報通信技術を活用した災害時のプラットフォームとして提供することにより、様々な広域的枠組みでのより効果的なパートナーシップを推進している。	・継続して活動 ・ユーザ会・パートナーアワードを開催し、自社サービスの導入企業同士や販売パートナー同士のネットワークを強化し、パートナーシップの活性化を図る。

(記載上の注意)

- 1 取組は3~5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

事業所・団体名称	株式会社アドテクニカ (本社が届け出る場合はその事業所の数 4)	
業 種	5. 情報通信業	
代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
	氏 名	下村 聡
所 在 地	〒422-8041 静岡県静岡市駿河区中田2丁目4-40	
U R L	https://www.adtechnica.co.jp/	
従業員（構成員）数	男性 <u>15</u> 人 女性 <u>12</u> 人 計 <u>27</u> 人	